

地域公共再生可能エネルギー活用事業に対する  
飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会の講評

●第1号認定事業 駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト2013

- ・寄付金が区の予算のおよそ1%を占め、継続的に収入が入るという仕組みは、地域経営においても有益になってきていると受け取りました。
- ・地区住民への周知不足や継続性が課題であるなど、成果と課題を分析しながら事業をすすめていること、また、地域文化の土壌を育てる自由画教育との連携や将来地域を担う地元中学生の人材育成を目的とした事業を実施するなど、寄付金を地域活性化のために工夫しながら活用の幅を広げつつある取り組みになってきていると感じました。

●第2号認定事業 飯田山本おひさま広場整備事業

- ・条例案件からの寄付金を地元の造園業者による管理委託費に充てることで、今後の住民負担を少なくし、景観を維持しながら、継続的に利用できる公園となっていることは公共性が高く、他の地域でも同様の取組みが創出されることを期待しています。
- ・また、地元中学校の生徒などの現地見学等、多くの方々がこの広場を訪れ、地域環境権条例による地域づくりのモデルとなっていると報告にありました。そういった教育面などでの波及効果も高いことは素晴らしいと思います。

●第3号認定事業 杵原学校多目的ホール屋根太陽光発電設備設置事業

- ・地域の子どもを対象に実施した「子供教室」が活発に実施され、杵原学校が地区の大事な交流拠点としての機能が、「杵原学校」という場所の価値がより向上すると感じました。
- ・杵原学校に観光ツアー客が多く訪れることから、今後は地域環境権条例を住民が有効に活用し、寄付金を様々な交流事業に活用している現状が地区内外へ発信されると期待しています。

●第4号認定事業 丘づくり・市民共同発電プロジェクト2014

- ・自治会自らが単独で地域環境権を行使した事業であるため、地域が自ら民間事業者に発注し、事業収益を左右させる発電状況を正確に把握しながら維持管理し、トラブルもなく順調な運用を行ってきたことを高く評価しています。

- ・また、地区の基本構想の実現を条例事業の目的とし明確に位置づけた点、地域のエネルギー供給に市民自らが参加することを入口として、公益性の高い様々な住民自治活動とリンクして地域還元されている点から、この地域が一丸となって物事を行っていることが伝わってきます。

●第5号認定事業 久米会館・さくら保育園久米分園太陽光発電設置事業

- ・集会施設の久米会館と保育園久米分園が隣接している立地を活用するとした当初の事業計画通り、高齢化が進む地域にある保育園分園の園児と地区住民が行う交流事業を通じて、地域の拠点のひとつになっている点が評価できます。
- ・保育園児との交流により高齢者がさらに元気で暮らせること、高齢者の持つ知識や知恵を、次世代を担う保育園児に伝える機会として、地域活性化のモデルに、この寄付金が活用されることを期待したいです。

●第6号認定事業 龍江四区コミュニティ消防センター太陽光発電設備設置事業

- ・当初の事業計画通り、太陽光発電を設置した防災施設の機能向上を図る取り組みと、多くの地区住民が集まる「七和の里ほたる祭り」の運営を支援し、地域の安全・地域振興に貢献している点を評価しています。
- ・今後、防災機能のさらなる充実化のため、地域振興を目的とした「七和の里ほたる祭り」助成に加え、講演会や地区の子供のために寄付金を活用するという方向性が地区内合意されていることを高く評価しています。今後も寄付金を有効に活用していることを地区内外に情報発信されることを期待しています。

●第7号認定事業 飯田市今田人形の館太陽光発電設備設置事業

- ・地域の伝統芸能の後継者育成等、保存伝承に必要な取り組みの推進に活用する点と、じゅうたんマットを敷くなどの防災機能の向上の取り組みに寄付金を活用している点を評価しています。
- ・引き続き、防災機能の向上の取り組みと伝統芸能を切り口とした地域活性化の取り組みの相乗効果が現れるような取り組みを今後期待しています。

●第8号認定事業 飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業

- ・この事業は、伊賀良地区、山本地区の住民が地域環境権を行使し、生徒会やPTA、教職員らとともに協議会を組織して実施した事業であり、太陽光発電事業を切り口とした地域と学校が連携して取り組むモデルとして高く評価しています。
- ・生徒自らが、生徒会活動においてこの事業の経緯やしくみを学び、実際に地域と話合っ

て毎年の地域貢献に資する取組みの構築をしていくことは、教育面・地域の世代を超えた連携を育てる自主的な取組みとして大いに評価しています。

- ・また、伊賀良・山本両地域が、「地域のためや飯田市の環境の向上のために使う」という方針だけを定めて、生徒会自ら考えて実行できるようにしたしくみは、両地域の懐の深さがあってのことだと思えます。
- ・この取組みが、飯田市内の他の中学校でも実施できるようになれば、環境モデル都市いだの取組みがさらに強化され、市民に広く浸透するとともに、次世代を担う子どもたちにも継承されるものであると期待しています。

#### ●第9号認定事業 花の木山本小学校太陽光発電設備設置事業

- ・平成28年3月から発電を開始して以降、落雷によるブレーカー切断のトラブルがあったものの、協働事業者であるおひさま社によってリカバリーが行われたと報告ではありましたが、実際のトラブル対応を問題なくされ、安定的に運営をされていることは高く評価しています。
- ・地区と学校が協働して取り組む太陽光発電事業の小学校におけるモデルとして評価しています。
- ・また、山本地区で旭ヶ丘中学校・山本小学校において再エネ条例の案件が展開されてきたことは、他地域・市内の他の小中学校へ広がっていく手本になるものと期待しています。
- ・今年、はじめて実施される地域への還元（寄附金）を目的に沿って有効に活用されることを期待しています。

## ●全体の講評

- ・ 毎年思いますが、同じ太陽光発電を扱っていても、飯田では地域ごとの特色のある地域公共再生可能エネルギー活用事業が創出されていることは、それぞれの地域での自治活動が活発な証拠だと感じています。
- ・ 今後も、市民総有の財産である地域の再生可能エネルギーを、地域の取組を結ぶ事業を継続することで、様々な価値を認識し、それぞれの地域ごとに特色のある活発な活動を継続してほしいと思っています。そういったことが重なることで、より魅力的な地域づくりに繋がり、飯田全体が活性化していくことと期待しています。
- ・ そのため、今日お集まりいただいています事業者の皆様をお願いしたいことがあります。新たに事業に取り組む地区が皆様のところにご相談に来られた場合、皆様が行ったことを是非教えていただきたいと思います。実際に事業を行われた実感を他の地域に伝えていただくことで、波及的な広がりを期待しています。
- ・ 飯田市役所におかれましても、これらの取組みを他地区にも横に広がる複数の地域での連携した様々な関係者間での取組みがしやすい土壌づくりを期待しています。
- ・ また太陽光のみならず、飯田市に豊富に存在する、水力やバイオマスをはじめとした再生可能エネルギー資源を活用した事業の創出がされることも引き続き期待しています。